患者さまへ

「脳卒中急性期における重度片麻痺患者の
発症 3 ヵ月後歩行自立可否に関与する因子の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2020 年 10 月より 2022 年 10 月までに当院の脳卒中診療科に入院した片麻痺患者さまのうち、BRS（ブルンストロームステージ）下肢 II 以下＊と評価された方。 ＊下肢の曲げ伸ばしが難しい
2 研究目的・方法	脳卒中リハビリテーションでは歩行能力、移動能力の改善は主要なゴールの一つとされており、リハビリテーションプログラムは予後予測に基づいて計画することが推奨されています。 全脳卒中の患者さまを対象とする予後予測に関する報告は多くありますが、特に急性期における重度片麻痺の患者さまのみを対象とした予後予測の報告は少ないです。 この研究は、脳卒中急性期における重度片麻痺の患者さまの発症 3 ヵ月後歩行自立可否に関与する因子を検討することで、今後リハビリテーションプログラムやご家族への情報提供に結び付けられる可能性があります。 研究の期間：施設院長許可（2023 年 11 月予定）後～2024 年 6 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、病型、生活状況(介助が必要かどうか)、入院中の併存疾患、運動機能(基本動作能力)、入院中の生活状況、嚥下能力、認知機能　等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 渡邊暁　湘南鎌倉総合病院　リハビリテーション科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1　電話番号：0467-46-1717

2023 年 10 月 7 日作成（第 1.0 版）